



平成30年版

環境白書

山形県

「環境白書の刊行にあたって」

本環境白書は、山形県環境基本条例に基づく年次報告書として、平成29年度における本県の環境の状況並びに環境の保全及び創造に関して県が講じた施策の状況などを、「第3次山形県環境計画」（平成24年3月策定）に掲げる6つの基本目標と施策の展開方向の項目立てに沿って取りまとめたものです。

平成29年度の主要な施策といたしましては、まず、再生可能エネルギーの導入促進につきまして、平成29年3月に中間見直しを行った「エネルギー政策推進プログラム」に基づき、風力発電や熱利用の拡大等、エネルギー種別毎の課題に応じた取組みを進めてまいりました。

また、家庭・事業所への再生可能エネルギー導入を促進するため、太陽光発電設備やペレットストーブなど、再エネ等設備の設置に要する経費を助成するとともに、家庭等における太陽光発電設備等の導入によるCO₂削減効果を集約し、政府のJ-クレジット制度を活用してCO₂削減価値を「見える化」したうえで企業に売却し、その売却益を地域の環境保全活動の支援に活用しました。

さらに、山岳資源の魅力向上を図るため、「やまがた百名山」写真コンテストなどによる情報発信を実施したほか、「やまがた百名山」の登山ルートグレーディングを設定して、山岳遭難の未然防止を図るとともに、「やまがた百名山」の環境保全活動等への支援により、山岳観光の受入態勢整備を進めたところです。また、「里の名水・やまがた百選」として新たに10箇所を選定し、ホームページ及びパンフレットによる情報発信を実施しました。

このほか、家庭や事業所における省エネ・CO₂削減行動の啓発、ごみの減量化やリサイクルの推進に向けた循環型産業の振興、県民参加の森づくり活動の支援、鳥獣被害の防止と管理の強化、単独処理浄化槽等から合併処理浄化槽への転換の促進、環境学習機会の充実など、様々な施策の展開を図ったところであります。

引き続き、「自然と文明が調和した新理想郷山形」の実現に向けて、施策を力強く推進し、「やまがた創生」を加速してまいります。

本白書を多くの県民の皆様にご覧いただき、家庭や事業所において環境保全活動や環境教育に取り組まれる際に広く御活用いただければ幸いです。

平成31年3月

山形県知事 吉村 美栄子

目次

本編

第1部 概説

第1章 地球温暖化を防止する低炭素社会の構築.....	1
1 「山形県地球温暖化対策実行計画」の中間見直し.....	1
2 山形県内の温室効果ガスの排出量と削減目標（CO ₂ 換算）.....	2
3 「やまがた太陽と森林（もり）の会」と環境価値の「見える化」.....	3
第2章 再生可能エネルギー等の導入による地域の活性化.....	4
1 「エネルギー政策推進プログラム」の中間見直し.....	4
2 風力発電等の導入促進に向けた取組み.....	5
3 熱利用の拡大に向けた取組み.....	5
第3章 ごみゼロやまがたの実現に向けた循環型社会の構築.....	6
1 山形県のごみの排出量の状況.....	6
2 ごみゼロやまがたの推進に向けた取組み.....	7
3 海岸漂着物等の回収処理及び発生抑制の推進.....	7
第4章 豊かな環境を守り、活かす自然共生社会の構築.....	8
1 「やまがた百名山」と山岳資源の魅力向上の取組み.....	8
2 「里の名水・やまがた百選」の選定.....	9
3 野生鳥獣管理の推進と計画策定、新規狩猟者の確保・育成支援.....	10
4 やまがた緑環境税の評価・検証.....	10
第5章 安全で良好な生活環境の確保.....	11
1 山形県的生活環境の状況.....	11
2 水資源の保全.....	13
第6章 環境教育を通じた環境の人づくり.....	14
1 山形県環境教育行動計画の中間見直し.....	14
2 環境保全活動の顕彰.....	15
3 山形県環境学習支援団体の認定.....	16

第2部 詳説

第1章 地球温暖化を防止する低炭素社会の構築.....	17
第1節 環境に配慮した行動の提唱・推進.....	17
1 地球温暖化と温室効果ガス排出量とその削減目標.....	17
2 持続可能な社会づくりのためのライフスタイルの提唱・推進.....	19
3 家庭における省エネルギーの推進.....	24
4 事業所における自主的な二酸化炭素削減計画の策定と取組みの促進.....	25
5 自動車の温室効果ガスの排出抑制.....	26
第2節 先進的な地域システムの構築.....	28
1 二酸化炭素削減効果の「見える化」の推進.....	28
2 森林吸収源対策の推進.....	29
3 排出量取引制度の活用促進.....	29
4 環境負担の少ない都市、交通などの社会基盤の構築.....	29
5 先進的な地域づくりの推進.....	30
6 地域システムの運用を支える仕組みの構築.....	31
第2章 再生可能エネルギー等の導入による地域の活性化.....	36
第1節 再生可能エネルギーの積極的な利活用.....	36
1 再生可能エネルギーの積極的な導入によるエネルギーの	

	安定確保と地域の活性化.....	36
2	風力発電施設と自然環境との調和.....	39
第2節	低炭素社会を支える環境関連産業の創出・育成.....	40
1	再生可能エネルギーの利活用を通じた環境関連産業の創出・育成.....	40
2	環境負荷の低減等に資する研究開発の推進.....	43
3	環境関連産業の市場形成の促進.....	43
第3節	環境活動に対する内外からの活力の引込み.....	44
1	環境ファンド等の活用や仕組みの検討.....	44
2	グリーン・ツーリズム等環境資産を活かした産業の振興.....	44
第3章	ごみゼロやまがたの実現に向けた循環型社会の構築.....	45
第1節	資源循環型社会システムの形成.....	45
1	本県の廃棄物の排出及び処理状況.....	45
2	県民との協働による3Rの推進.....	48
3	廃棄物の資源としての循環利用の促進.....	50
第2節	資源の循環を担う産業の振興.....	51
1	循環型産業の創出・育成.....	51
第3節	廃棄物の適正処理による環境負荷の低減.....	54
1	廃棄物の適正処理の推進.....	54
2	廃棄物の不法投棄の防止.....	56
第4章	豊かな環境を守り、活かす自然共生社会の構築.....	57
第1節	自然環境との共生.....	57
1	自然環境の保全と活用.....	57
2	森林が有する公益的な機能の維持及び持続的な発揮.....	63
3	環境の保全に資する産業活動の促進.....	64
第2節	生物多様性の保全.....	66
1	希少な野生動植物等の保護.....	66
2	クマ・サル等野生鳥獣の保護、管理.....	68
3	生物多様性保全に資する農林業生産活動の推進.....	71
第3節	自然との共生の文化や風土の伝承.....	72
1	最上川文化の保全と伝承.....	72
2	地域の景観や文化の伝承.....	72
第5章	安全で良好な生活環境の確保.....	77
第1節	大気環境の保全.....	77
1	大気汚染物質対策.....	77
2	騒音振動防止対策.....	80
3	悪臭防止対策.....	83
4	オゾン層の保護、酸性雨対策.....	83
第2節	水環境（質・量）の保全.....	85
1	河川、湖沼等の水質保全対策.....	85
2	生活排水対策.....	90
3	健全な水循環と水資源の適正利用.....	94
4	水環境の保全活動の推進.....	98
第3節	土壌環境、地盤環境の保全.....	98
1	土壌環境の保全.....	98
2	地盤環境の保全.....	99
第4節	化学物質の環境リスクの低減.....	100
1	有害化学物質対策.....	100
2	化学物質の適正管理.....	102

第5節	公害被害等の防止と解決	102
1	公害苦情の処理	102
2	公害の未然防止	104
3	公害紛争の処理	104
4	公害事犯の取締り	104
5	公害健康被害補償制度	105
第6節	原子力発電所の事故に伴う放射線対策	105
1	福島第一原子力発電所事故に係る放射線対策	105
2	平常時の放射線対策	109
第6章	環境教育を通じた環境の人づくり	110
第1節	環境学習の意欲増進	110
1	人材の育成と活用	110
2	環境学習機会の充実	111
3	再生可能エネルギー等の環境学習プログラムの整備	113
4	環境保全活動の顕彰	116
第2節	環境教育の充実	117
1	環境学習施設における環境教育	117
2	学校、地域、職場における環境教育	117
第7章	基本目標の実現に向けた共通の基盤	119
第1節	環境情報の収集・提供	119
1	県民のニーズを踏まえた各種媒体での広報の推進	119
2	幅広い視点から環境情報を体系的に収集・整理し、 一元的にわかりやすく提供	119
3	環境汚染やクマ等野生生物による被害など緊急時の 対応を含め迅速に情報提供	120
第2節	パートナーシップ活動の充実	120
1	パートナーシップによる取組みの促進	120
第3節	環境配慮の実践	121
1	環境影響評価制度の運用	121
2	環境配慮の普及促進	121
第4節	経済的手法の活用	122
1	産業廃棄物税を活用し、3R推進等に向けた誘導的 施策を積極的に展開	122
2	ごみ処理の有料化の導入	123
3	国の基金の活用や地球温暖化対策のための税の地方 への振り向けの国への働きかけ	124
4	やまがた緑環境税等による森づくりの推進	124
5	やまがた社会貢献基金による支援	125
第5節	環境科学研究の充実	125
1	山形県環境科学研究センターの基本方針の見直し	125
2	県環境科学研究センターの取組み	126
3	国際協力の推進	127